

令和2年度  
新入生ガイドブック

【概略版】

横浜市立日枝小学校

## ～はじめに～

### ○保護者の皆様へ

こんにちは。校長の住田昌治です。

お子様のご入学、おめでとうございます。保護者の皆様は、お子様の入学に向けていろいろ準備をしていってくださることでしょう。

『日枝小学校はどんな学校かな。幼稚園や保育園の友達がいるかな。勉強は、難しいのかな。お兄さん、お姉さんは優しいかな。私の先生はどんな先生かな。』

と期待と憧れを抱きつつも、登校について不安を抱えているお子さんも多いのではないのでしょうか。このガイドブックは、そんなお子さんや保護者の皆様の疑問や不安を少しでも解消できるように、作成しました。

お子さんによって性格も様々ですし、成長の早さにも違いがあります。一言で6年間と言っても、育ってきた環境は人それぞれ違います。その差を入学前のこの2か月足らずでうめようとする、子どもは悲鳴をあげてしまいます。保護者の皆様は、あせらずお子さんに自信をもたせることと、小学校の生活の概要をつかみ、準備をしていくことが大切です。

幼稚園や保育園では、子どもは「遊び」の中からいろいろな体験をし、学習につながる学びの芽が育てられます。小学校では、それらの経験を土台として、いろいろな教科の学習が始まります。

小学校に入学して1～2週間は、学校生活に慣れ、友達づくりをするための時間をたくさんかけています。担任の先生と仲よくなり、新しい友達ができると、自ずと声も大きくなり、自分自身を出せるようになります。小さい6歳の子どもにとって、大きな教室、たくさんの上級生、45分の時間に追われる生活は、慣れない生活です。少しでも早く学校に慣れ、それから学習に進んでいけるように、本校では学習の内容や方法を工夫したり、ボランティアを導入したりして安心して学校生活を送れるようにしています。ご家庭では、お子さんの話に耳をかたおけ、元気に安心して登校できるよう、ご協力の程よろしく願います。



# 目 次

【1】	横浜市の期待する10の「子どもの姿」	P 2
【2】	本校の目指す子どもの姿（学校教育目標）	P 3
【3】	学校概要	P 4
【4】	日枝小学校案内図	P 5
【5】	日課表	P 6
【6】	小学校生活の様子	P 7
【7】	1年生の学習・生活	P 9
【8】	外国につながる児童へのサポート	P 14
【9】	1年生の主な行事	P 15
【10】	1年生の学用品について	P 16
【11】	給食について	P 22
【12】	学校納入金について	P 23
【13】	給食費納入について	P 24
【14】	保健関係について	P 25
【15】	安全について	P 29
【16】	地区班名一覧	P 31
【17】	方面別下校について	P 32
【18】	メール配信について	P 33
【19】	Q & A	P 36

# 1 横浜市の期待する10の「子どもの姿」

- ①人の話をしっかりと聞く。
- ②様々なことに興味と関心を広げる。
- ③きちんとあいさつをする。
- ④感謝の気持ちを大切にする。
- ⑤早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付ける。
- ⑥命と体を大切にする。
- ⑦よいことと悪いことをきちんと判断する。
- ⑧人の役に立つために進んで行動する。
- ⑨身近な周りの環境に関心をもって行動する。
- ⑩多くの人とかかわり、進んで学ぶ。

未来を支える 未来をつくる  
これからの横浜の教育  
保護者・市民向けガイド

より

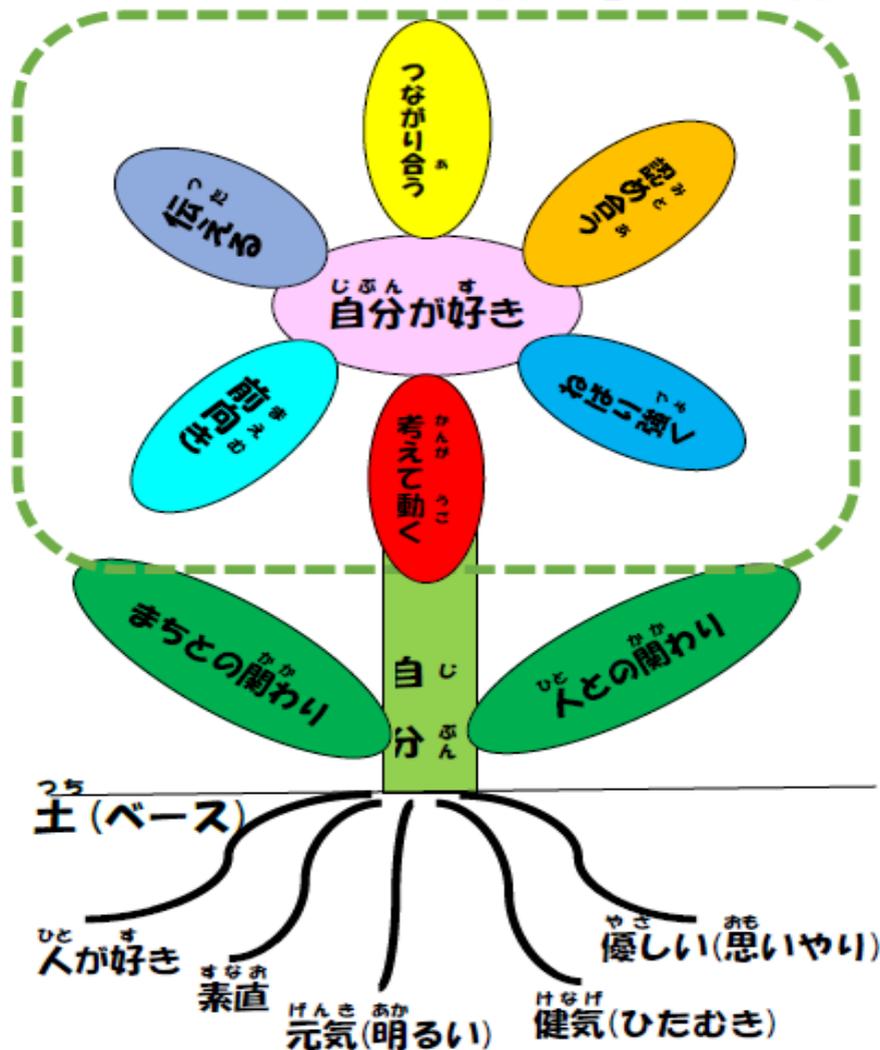


## 2 本校の目指す子どもの姿

学校教育目標

生き生き 日枝っ子

学校教育目標「生き生き日枝っ子」のイメージ図



### 3 学校概要 (令和2年 2月1日 現在)

○所在地 〒232-0013  
横浜市南区山王町5丁目31番地  
電話 045(261)3764  
FAX 045(262)5086

○児童数 男子 341名  
女子 322名 合計 663名

○家庭数 574

○学級数

1年	4クラス
2年	4クラス
3年	3クラス
4年	3クラス
5年	3クラス
6年	3クラス
個別支援級	5クラス
合計	25クラス

○職員構成

校長	1名	副校長	1名
教諭	29名	児童支援専任	1名
事務職員	1名	養護教諭	1名
技能吏員(技術員)	2名	栄養教諭	1名
学校カウンセラー	1名	学校司書	1名
外国人講師	2名	国際教室 含日本語支援・補助指導員	7名

## 7 1年生の学習・生活

### 入学当初の学習



入学当初は、いろいろな幼稚園・保育園から入学してくるので、早く友達と仲よくなったり、担任の先生や学校の職員とのふれあいを通して安心感をもたせたりしていきます。学校の生活リズムに慣れながら、いろいろな部屋や施設を知り、正しい使い方、廊下や階段の歩き方などを学んでいきます。運動場等に出て元気よく遊び、自分のお気に入りの場所を見つけ、安心して過ごせるようになるには1か月ぐらいかかります。5月ごろになると、学校や友達にも慣れ、ほっとした気持ちから熱を出す子どももたまに見られます。それほど子どもにとっては、生活のリズムが大きく変わります。最初から勉強だけにこだわり過ぎず、体調に気をつけ、子どもの心をほぐすことを大切にしています。

### こくご

#### 言葉を使って伝え合い、わかり合う子

友達と仲よく遊んだり、学習したりするには、お互いが思っていることを分かり合わなければなりません。そのために、言葉でのやり取りを大切に学習が行われます。言葉で伝え合うことの楽しさを十分味わわせていきます。

1年生は、ひらがな・かたかな・漢字を習います。ひらがなの学習は、ゆっくりとていねいに進めていきますから心配はいりません。その後、自分の思いを書き表す楽しさや喜びを大切にしながら「したこと」や「見たこと」などの書き方を学んでいきます。

読むことでは、音読を大切にし、一語一語はつきり読む学習が繰り返されます。

## さんすう

### 数量や図形に興味・関心をもつ子

1年生の算数は、100までの数についての理解と、簡単なたし算・ひき算や形あそびの学習が中心となります。入学当初、子どもたちの知識や経験には、かなりの個人差があります。しかし、これらに関する個人差を、この時期に気にされる必要はありません。学校では、実生活と結びつけ、数量や図形に興味・関心をもちながら、一人ひとりの子どもがそれぞれの力を出して、楽しく学習できるように具体的な場を用意し、十分時間をかけて学習を進めていきます。

## なかよし（生活科）

### 探究心を持ち、豊かな体験を広げ、心豊かな子

なかよし（生活科）での学習を通して、子どもたちが学校や家庭、地域の人や自然などに興味をもち、「やってみたい」という気持ちを大切にしながら学習を進めていきます。

#### 学校・公園となかよし

友達と一緒に学校たんけんをして見つけたことを教え合ったり、学校にいる先生や友達などたくさんの人々とふれあったりします。また、通学路や公園に出かけて行き、お世話になっている地域の人々や自然にも接するようになります。



#### 生きものとなかよし

草花を自分で育てたり、生き物と遊んだり世話をしたりします。

#### 季節となかよし

花の実、枝や葉などを使い、工夫して遊びながら、身近な自然の変化の様子などを知っていきます。

## 家族となかよし

家庭生活を支えている家族のことを調べたり、自分でできることを進んで増やしたりしていきます。

## もうすぐ2年生

幼稚園や保育園の子どもと遊んだり、学校での生活や学習のことを教えてあげたりします。また、新しい1年生を迎える準備もします。

※これらの内容を子どもたちの興味関心に応じて取り組みます。

(小学3年生からは「社会」「理科」「ともだち・仲間(総合的な学習の時間)」の学習へとつながっていきます。)

## おんがく

### 楽しい音楽活動で心を豊かにする子

低学年の子どもは、音楽に素直に反応してすぐに身体を動かしたり、メロディーを口ずさんだりしながら体全体で音楽を感じ取ります。そんな気持ちを大事にして「音楽って楽しいな。」と思える活動をたくさんします。音楽の時間には、次のようなことをします。

○友達と声を合わせて歌う楽しさを味わいます。

○リズム遊びをしたり、身近な打楽器や鍵盤ハーモニカの演奏の仕方を学んだりして、歌に合わせて楽しく演奏します。

○歌ったり踊ったりしながら、曲のおもしろさを感じ取って聴きます。

## ずがこうさく

### 進んで造形活動に取り組む子

1年生の図画工作では、体全体を使っていろいろな材料にかかわり、夢中になって活動することにより、創り出す喜びを味わい、進んで表したり、見たりする態度を育てます。

## 造形遊び

身近な材料を並べたり、つないだり、積んだりして児童がもっている力を働かせながら体全体を使って活動します。

## 絵や立体に表す

形や色、イメージなどを手掛かりに材料や用具などを自分で選び、感じたことや想像したことなどを自分なりの発想で絵や立体、工作に表していきます。

## 鑑賞

お互いの作品を楽しく見合うことで、表現の面白さや特徴に気づけるようにします。

## たいいく

### 進んで運動に親しむ子

1年生は、子どもの発達の様子から簡単で親しみのある運動遊びを中心に学習を進めます。

走る、跳ぶ、体ほぐしをする、鉄棒や跳び箱・マットなどで遊ぶ、輪やボールなどを使う、水遊びをする、何かに変身したりリズムにのって踊ったりするなど様々な運動遊びを行います。

「ゲーム」では、ボール投げゲームやボール蹴りゲーム、いろいろな鬼遊びなどをして、みんなでゲームを楽しみます。

このような経験を通して、運動を好きになるだけでなく、運動するときの順番を守ったり、ルールを考えたり、協力して仲よく勝敗を競い合ったりするなどの社会的態度の育成も目指しています。

運動する機会が少なくなっている現在、学校での運動遊びは、子どもの体と心の成長に重要な役割を果たしています。



## とくべつかつどう

豊かな人間関係を育もうとする子

楽しい学校生活をつくる活動

仲間づくりを目指す活動

学級活動の時間には、子どもが主役になって、学校生活がより楽しくなるように様々な工夫をし、協力して自分たちの手で問題を解決していくようにします。クラスの目標を決めたり、クラスの係活動を決めたり、集会等を計画したりするのも学級活動です。これらの活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築いていこうとする態度を育てていきます。

## がいこくごかつどう（YICA）1～4年生

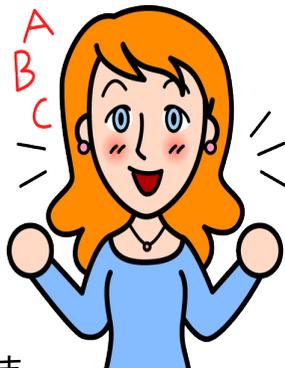
外国語を通じ積極的にコミュニケーションを図ろうとする子

※横浜市では、1年生より外国語活動を始めています。

小学校での外国語活動は、外国語を使って相手と気持ちを伝え合ったり、外国の文化や習慣を体験したりすることで、言葉の大切さや会話の楽しさを感じ取るとともに、積極的に相手とかかわろうとする態度や相手との関係をスムーズにしようとする姿勢などを身に付けることなどをねらいとしている時間です。

1年生では、歌やリズム遊び、ゲームなどを楽しみます。外国人講師の英語の発音やリズムに自然な形でふれていきます。

また、横浜市の取組として、国際理解教室で一年を通して一つの国の文化等を英語で学びます。6年間で6カ国のことを学ぶこととなります。



## 8 外国につながる児童へのサポート

日枝小学校には、外国籍や外国につながる児童が多く通っています。そのために、様々なサポートシステムがあります。

### 【国際教室】

日枝小学校には、国際教室が設置されています。担当の先生が、日本語を教えたり、「やさしい」日本語や母語で教科学習をしたり、日本の生活支援をしたりして、学校生活に適應できるように、少人数/個別で支援しています。

保護者の方も通訳を頼みたいときや分からないことがあるときには、国際教室の先生に聞いてください。

### 【母語ボランティア支援】

外国語ができる方が週に数回学校に来て、サポートしてくれます。児童のそばにいて、学校生活に慣れるための支援や学習支援などをその児童の母語で行います。

### 【横浜市日本語教室】

日本語が分からない児童のための教室です。外国語を話せる先生が学校に来て、日本語だけを個別で学習します。

☆来日したばかりのAさん場合…

週3回の国際教室、週2回の母語支援があります。国語や算数の時間に国際教室に来て、ひらがなやかたかな、日本の漢字を覚えたり、国語の内容を母語で理解できるようにしたり支援しています。



## 9 1年生の主な行事（令和元年度版）

前期	4月	入学式 1年生を迎える会 授業参観・懇談会 家庭訪問
	5月	授業参観 学校説明会・PTA総会 春の遠足
	6月	開港記念日 水泳学習開始 土曜参観
	7月	個人面談 大掃除 夏季水泳（希望者）
	8月	夏休み
	9月	プール納め
後期	10月	前期終業式 運動会 後期始業式 秋の遠足
	11月	音楽発表会
	12月	個人面談 大掃除 冬休み
	1月	日枝っ子まつり
	2月	授業参観・懇談会
	3月	卒業生を送る会 大掃除 修了式・離任式



# 10 1年生の学用品について

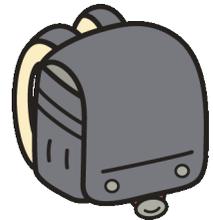


- ① 教科書は、入学式の日は無償で給付されます。
- ② 学校で一括して購入する学用品は、入学説明会に入学準備金として集金し、その場でお渡しします。

学用品名
こくごノート
さんすうノート
連絡帳 (欠席の時届けてくれる友達の学年・組・名前を明記してください。)
連絡帳袋 (欠席の時届けてくれる友達の学年・組・名前を明記してください。)
ネームペン
道具箱
計算カード
算数ブロック
給食帽子
フェルトペン(書写の時間に使います。道具箱に入れておきます)
つぼのり(図工の学習で使います。)
液体のり
歌集「みんなのうた」(6年生まで使います)

### ③ 家庭で用意していただくもの

- 1 ふでばこ（シンプルなもの。カンやチャック式は好ましくない。）
- 2 鉛筆（シンプルなもの。Bか2Bを4～5本。一本一本に名前を書く。  
鉛筆キャップは使わない。毎日家で削る。）
- 3 赤えんぴつ 1本
- 4 消しゴム（においや飾りがなく、よく消える白いもの）
- 5 ミニセロテープ（カッター付き）
- 6 色えんぴつ（12～16色）
- 7 パス（12～16色 クレヨンではありません）
- 8 下じき（無地）
- 9 はさみ（先が丸く安全なもの）
- 10 おり紙（ジッパー付きの袋などに入れ、道具箱の中に入れます。）
- 11 上履き（つま先の色は自由、前面とかかと部分にひらがなで名前を書きます。）
- 12 上履き入れ（名前を書きます）
- 13 体育着〔紺のクォーターパンツ・白の運動シャツ（チャックのついていないもの）〕
- 14 赤白ぼうし
- 15 体育着入れ
- 16 ランドセル
- 17 油ねんど（1kg程度のをケースに入れてください。色付きや紙粘土は不可です。詳細は21ページをご覧ください。）
- 18 ねんど板（幼稚園・保育園で使用してきたもので可）
- 19 給食袋（口ふきタオル・布マスク・給食帽子・  
歯ブラシ・コップを入れます）
- 20 ぞうきん
- 21 ひも付き洗濯ばさみ（2個）
- 22 図エシート（詳細は21ページをご覧ください）
- 23 手さげ袋（体育着、上履き、白衣等を持ち運ぶための物）



## <道具箱> (道具箱は学校で購入します)

「ふた」と「そこ」を並べ、机の中に入れて使います。

～中に入れるもの～

- ・はさみ
- ・おり紙
- ・つぼのり
- ・液体のり
- ・ミニセロテープ
- ・色えんぴつ (12～16色)
- ・みんなの歌
- ・パス (12～16色)
- ・フェルトペン



ふた



そこ



○パスは開かないようにゴムをかけます。

○折り紙は、20枚程度でジッパー付きの袋に入れてください。

## <体育着・赤白帽子>

○週のはじめに持ってきて、週末に持ち帰ります。



35cm程度

40cm程度



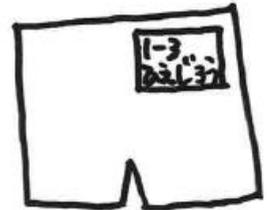
1-1  
ひえまるこ

○シャツ、ズボン、赤白ぼうし、体育着入れすべてに名前をご記入ください。縫い付けても直に書いてもよいです。

## <水泳学習の水着>

○6月～9月に水泳学習があります。水着は紺か黒のスクール水着（女子は、スカートなし）をご用意ください。

○令和2年度入学生の帽子の色は白色です。（6年間同じ色を使用します。）



スカートなし

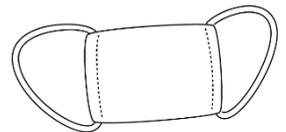
## <給食袋>



30cm以内



口ふきタオル



マスク



コップ



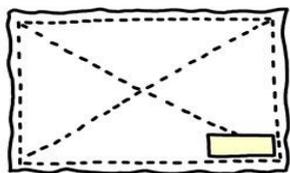
歯ブラシ



給食帽子

名前を大きく記入

## <ぞうきん・ぞうきん用洗濯ばさみ>



○絞りやすいように、薄手のタオル地でご用意ください。



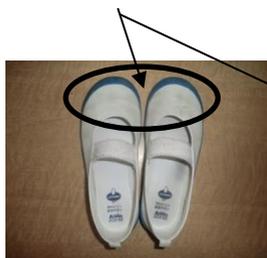
○ぞうきん用洗濯ばさみは30cm位の紐を通して輪に結んでください。  
(2個)



## <上履き入れ・上履き>

○白のバレージューズ

○前部と後部に名前を書いてください。つま先の色は自由です。



名前をご記入ください。

## <防災ヘルメット>

○横浜市より後日、配付されます。

○防災ヘルメットは6年間使用し、卒業時に学校へ返却します。

※幼稚園・保育園で使用していた防災ずきんは、座布団として使用されても構いません。

## <図エシート>

新聞の縦  
約54センチ



- 図工の学習で使用します。
- 新聞紙一日分に、水をはじく包装紙やごみ袋を重ね、ガムテープで周りを貼ってください。
- ※新聞は、全部開いた状態から、1度だけ折ったサイズです。

## <油ねんど・油ねんど板>



- 紙ねんどやカラーねんどではなく、油ねんどをご用意ください。
- 新しいねんどは、ビニール袋から取り出して、粘土用の箱に入れてください。

## <手提げ袋>



- 体育着、上履き、白衣などを週末に持ち帰ったり、週のはじめに持って来たりするために使います。
- 道具箱（24×33×7）が入るサイズにしてください。

## <鍵盤ハーモニカケース>



- 鍵盤ハーモニカ（ヤマハピアノニカ）は学校で貸し出します。ケース購入のご案内は、6月頃改めて学年だよりでお知らせします。

**持ち物には全て記名をしてください。名前がないと落とし主が分からず、本人に返却できない場合があります。**

# 1 1 給食について

## <給食の持ち物>

汗ふき、トイレ用とは別に小タオル、またはハンカチを持たせてください。食事中、口や手をふくときに使用します。予備を2～3枚用意して、毎日洗って清潔なものを持たせてください。またマスク、給食帽子、歯ブラシも給食袋に入れて持たせてください。

## <給食当番になったら>

給食当番の白衣と袋は、学校で用意します。週末に持ち帰りますので、洗濯をして必ずアイロンをかけ、週のはじめに持たせてください。白衣のボタンがとれていたら、補修をお願いします。また、帽子とマスクは個人持ちになっています。

## <食物アレルギーについて>

本校における給食時の食物アレルギーについては、保護者と相談しながら対応したいと考えています。アレルギー対応につきましては、担任・養護教諭・栄養教諭にご相談ください。



## 12 学校納入金について

本校では、学校諸経費について、銀行の口座振替を実施しております。ご協力をお願いします。

○学年費、PTA会費を銀行口座振替により納入します。

取扱金融機関は「横浜信用金庫吉野町支店」です。預金口座を開設し、別紙「学費自動振替依頼書」を窓口に提出してください。お子さん一人ずつ手続きをお願いします。なお、口座を開設する場合は、顔写真入りの身分証明書（運転免許証、パスポートなど）が必要です。

○学年費は、月額 650 円で 11 か月分（4～2 月分）、PTA 会費は、月額 400 円で 12 か月分の納入となります。

○引き落としは年 3 回（5・9・11 月の指定日）行います。1 回の引き落としに「55 円」の手数料が必要となります。

○日本スポーツ振興センター費 460 円は初回のみ納入です。

○引き落としができなかった場合は、現金を学校に持参していただくこととなります。残高の確認をよろしくをお願いします。

○学校納入金一覧（予定）

月	学年費	PTA 会費	スポーツ振興センター費	手数料	合計金額
4 月	650 円	400 円	460 円	55 円	4,714 円
5 月	650 円	400 円			
6 月	650 円	400 円			
7 月	650 円	400 円			
8 月	650 円	400 円		55 円	4,254 円
9 月	650 円	400 円			
10 月	650 円	400 円			
11 月	650 円	400 円			
12 月	650 円	400 円		55 円	3,604 円
1 月	650 円	400 円			
2 月	650 円	400 円			
3 月		400 円			

\* 学年費については、値上がりする可能性もあります。（令和 2 年 2 月現在）

## 1 3 給食費納入について

- 月額4,600円で5月から3月までの年間11回払いです。  
各ご家庭の指定金融機関の口座から引き落とされます。
- 別紙、「横浜市学校給食費口座振替依頼書」を金融機関窓口に提出してください。お子さん一人ずつ手続きをお願いします。
- 給食費の引き落とし日は、原則毎月29日です。残高不足のため、引き落としができなかった場合は、「納入通知書」を郵送します。金融機関または、郵便局で納入してください。
- 学年費と給食費の引き落としで異なる口座をお持ちの場合、入金額をお間違えのないようご注意ください。

# 14 保健関係について

## <健康面>

- 朝の健康状態をよく観察してください。(顔色、食欲、便通など) いつもと違う様子がみられた場合は、必ず体温を測り、様子を見てください。
- 身体の具合が悪いときは、無理に登校させないで家でゆっくり休ませてください。
- 生活リズムを整えるのは、学校生活を楽しく充実して過ごすためにとても大切です。また、学校では、午前中に多くの活動があります。朝ご飯を食べていないと学習に集中できず、元気に活動することもできません。早寝・早起きをし、朝ご飯は必ず食べて登校するようにしてください。
- 学校の保健室は、応急処置をするところです。具合が悪くなったときは、ご家庭に連絡をしますので、お迎えに来てください。  
※病気やけが、または急用などで学校を休む場合は、欠席理由を連絡帳に記入し、担任まで提出してください。  
※遅刻・早退の場合は、保護者の方が必ず学校まで送迎してください。  
※緊急の場合以外は、電話での欠席連絡はご遠慮ください。

主な学校感染症（出席停止）		
百日咳	咽頭結膜熱	麻疹（はしか）
水痘（水ぼうそう）	風疹（三日ばしか）	流行性角結膜炎
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	インフルエンザ	

※これらの病気にかかったときは、流行を防ぐため医師の診断をもとに出席停止となります。健康手帳をお渡ししますので、最終ページにある記録欄に必要事項を保護者が記入してください。証明書や診断書は必要ありません。

## <健康手帳>

定期健康診断、発育測定の結果など、学校と家庭との連絡に使用します。お子様の健康や成長を記録する手帳です。通常は、学校で保管をしますが、発育測定などを行った際、ご家庭に持ち帰ります。確認をして押印し、学校にお返しくください。6年間使用しますので、大切に扱ってください。



## <児童保健調査票>

「児童保健調査票」をお渡しします。お子様の今までの健康状態や現在の様子を質問項目にそって書いていただくものです。学校での健康管理をする上で、大切な資料となります。健康上配慮してほしいことや心配なことなど、詳しくご記入ください。



## <衛生面>

ハンカチ・ティッシュは毎日もたせてください。必要なときにすぐに使えるよう、洋服や体育着はできるだけポケットのあるものをお願いします。衣類や下着などを汚してしまった場合、保健室の予備の衣類に着替えることがあります。衣類は洗濯をして後日お返しくください。下着（パンツ）に関しては、衛生上新しいものをお渡ししていますので、同サイズの新しいものをお返しくくださいますようお願いいたします。

## <事故・けがをした場合>

### ○給付金制度について

#### ① 「独立行政法人 日本スポーツ振興センター」について

登下校を含む学校管理下における医療費給付制度で、全児童が加入します。学校生活でのけがや登下校途中でのけがで受診した際は、担任または養護教諭までお知らせください。

② 「横浜市安全教育振興会」について

学校管理下外の事故（交通事故を除く）に対する見舞金給付制度で、PTAを通して加入します。家や放課後の活動だけをして3日以上受診した際には、担任または副校長までお知らせください。

<日本スポーツ振興センター>

給付対象	学校の管理下における事故 <学校の管理下とは> ・授業中（教科、遠足、宿泊体験学習、大掃除） ・クラブ活動 ・宿泊体験学習 ・休み時間（始業前、中休み、昼休み） ・通学途中（登下校中、ただし通常の経路による）など
給付事由	保険診療費、診療報酬500点以上
事務取扱者	養護教諭
掛け金	スポーツ振興センター費（460円）

<横浜市安全教育振興会（安振会）>

給付対象	学校管理下外の事故 （交通事故、非常変災による事故、病気を除く） ・放課後、公園で遊具にぶつかり額を切った。 ・休日、地域行事のスポーツ集会で骨折した。 ・階段で転んで捻挫した。 ・自転車に乗って転倒し、歯を折った。 など
給付事由	入院 1日以上180日以内 通院 3日以上180日以内（歯の事故は2日以上）
事務取扱者	副校長
掛け金	PTA会費より500円を支出

## <相談窓口について>

- お子さんの学校生活等について心配なことや気になることがありましたら、早期解決を図るためにも学校にご連絡ください。
- 相談窓口として、学級担任、学年の担任、児童支援専任、特別支援コーディネーター、養護教諭、学校カウンセラー等に相談できます。(詳しくはP. 41、42をご覧ください。)

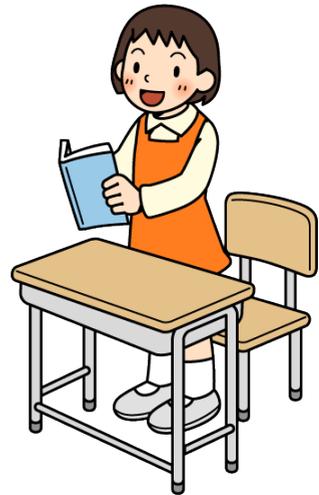
## 19 Q & A

**Q** まだ文字の読み書きができないのですが、大丈夫でしょうか。

**A** あせらないで。他の子と比べないでください。

1年生の教科書の最初は、絵ばかりで、ほとんど文字は書かれていません。描かれている絵をもとに、先生や友達と話し合いながら、だんだんと文字に関心をもつようにしていき、ひらがなを学んでいくことになっています。

文字に対する興味が表れる時期は、子どもによって違いがあります。隣の子どもが、すでに文字を読んだり書いたりするのと比較してあせることは禁物です。文字を習得するためには、まず話し言葉の学習が必要です。親が一方的にしゃべると、子どもは話をする機会を失ってしまいます。例えば、子どもが描いた絵を見たときに「これ、何を描いたの?」と聞くよりは「この絵のお話を教えて。」と尋ね、じっくり子どもの話を聞くことが大切です。子どもの話を聞くときには、子どもの目を見ながら、笑顔で聞きましょう。また、話すときには、ゆっくり目を見て話しましょう。そのようなことの繰り返しによって、文字学習に必要な、話し言葉の学習効果が出てきます。



Q 学校のトイレが使えるか心配です。

A 家のトイレ以外でも用をたせるようにしておきましょう。

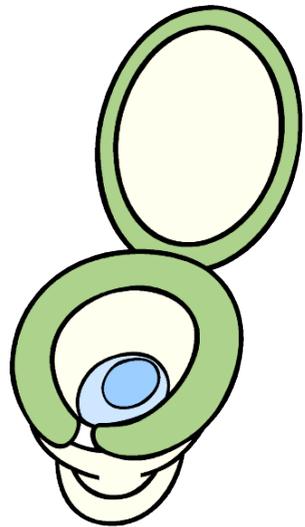
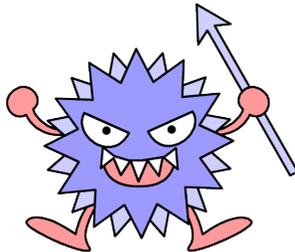
入学当初、下着を下ろしておしっこをしている男児をよく見かけます。全部脱がなくても用がたせるようにしておきましょう。

男子トイレには個室以外に小使用の便器があります。お家にないためか、便器の周りにおしっこが飛び散ってしまうことがあるようです。機会をとらえて小使用の便器にも慣れておけると、安心してきれいに使用できるでしょう。

トイレの後始末がうまくできない子どももいます。後から使う人のためにも、正しく後始末ができるように、習慣づけることが大切です。

また、毎朝トイレに行く習慣をつけ、体調を整えて登校できるようにしたいものです。

最後にもう一つ。トイレから出たら必ず手を洗い、清潔なハンカチでふくことも習慣づけましょう。



Q 子どもが体調を崩してしまいました。どのように学校に連絡したらよいでしょうか？

A 連絡帳を使い、お知らせください。



学校は、子どもたちが毎日元気に登校してくる場所です。登校する時刻も通学路も決まっています。それが、何の連絡もなく突然学校に来ないと、担任だけでなく、クラスの友達も驚きます。ですから、体調を崩して学校を休んだり、家庭の都合で学校を休んだりする場合は、近所の友達か登校班の班長に連絡帳を届けて、お知らせください。

どうしても近所の友達に届けられなかったり、緊急の事態が起こったりした場合のみ、電話でお知らせください。

日枝小学校

TEL 045-261-3764



**Q** いじめられているのではないかと心配です。

**A** 小さなサインを見逃さず、気になることは先生に相談しましょう。

子どもたちの遊びの中で、同じようなことをされても遊びの一部としか感じない子どもと、「またいじめられた。ぼくばかり。」と感じる子どもがいます。ふざけ合いを“いじわる”と感じ、不安に思う子どももいます。

はじめの段階では、遊びとして、おもしろ半分のいたずらだったものが「いじめ」となっていくなど、遊びと区別がつけにくい場合もあります。

また、いじめられている側が感じている、いじめの程度（つよさ）と、いじている側が感じるいじめの程度との差があまりにも大きいため、判断が難しいこともあります。

さらに、いじめられている子どもは、その事実を先生や親に言えないことが多いものです。親や先生に言えば、なおさらいじめられるのではないかと考え、恐れて言わない場合があります。

そのため、子どもの表情やつぶやき、服の汚れや持ち物の損傷、紛失などの、小さな変化にも気づくことが大切です。また、子ども自ら心を開き、安心して話せる雰囲気を作る必要もあります。そして、早期の段階で担任や児童支援専任などと十分に話し合い、事実を確かめ、解決の方法を見つけていくことが大切です。

Q ほめ方やしかり方がよくわからないのですが、どうすればよいでしょうか。

A 他の子どもと比較しないで、よいところを見つけ、ほめましょう。

他の子どもと比較して、できる、できないでほめたり、しかつたりしていませんか。これは、子どもの中に知らず知らずのうちに、「自分だけが友達より早く上手にできればよいのだ。」という間違った競争心を育てることになります。子ども自身のがんばりや、よいところを見つけ具体的にほめましょう。

温かい思いやりのある心や自分を鍛え努力する態度など子どものよさを見つけたときに「よくやったね。」と進んで声をかけてほめてください。

しからなければならないのは、生命に危険のあるときや人に暴力をふるったり、心を傷つけるようなことを言ったり、迷惑をかけたときなどです。



友達同士で、教え合い、助け合い、励まし合う機会を大切にしていけることによって、人の気持ちをくみ取れる子どもへと成長していくのです。

Q 子どもには特別な支援が必要です。どのような支援が受けられるのですか。

A 学校では特別支援教育を行っています。

日枝小学校では、個別支援級を設置し、一人ひとりの子どもに必要なことを見極め、状況に応じた教育支援を行っています。また、お子さんの状態に合わせ、一般学級との交流も積極的に進め、将来的に必要な集団生活のスキルの基礎を育みます。



一般学級に在籍していても個別の支援を必要とするお子さんの為に特別支援教室（にこにこ教室）を設置しています。学級を離れ、落ち着いた環境で学習を進めます。

学校は全ての子どもが安心して通える場をめざしています。お子さんの発達について不安や疑問があったときは遠慮なく学校までご相談ください。



Q 子どものことで相談したいことがあるときは、どうすればよいでしょうか。

A 学校では、様々な相談の窓口を用意しています。

お子さんの学校生活での悩みは、まず、担任までご相談ください。担任だけでは解決が難しい場合は、学年主任や児童支援専任、特別支援コーディネーター、養護教諭等に相談することができます。専門機関と連携した支援も行っています。

また、専門的な相談窓口として、学校カウンセラーが月に数回来校し、保護者や子どもたちの相談に気軽に応じてくださいます。子育ての悩みから、家庭での悩みなど、今までに多くの保護

者の皆さんが利用しています。利用に費用はかかりません。学校カウンセラーの申し込みは、児童支援専任または副校長までご連絡ください。

